

■ プレ事業について

- 今年度(平成 27 年度)に実施するため予算を確保済みの事業
 - ① 工事現場の正面ゲートにイメージパースが描かれた 4m×2m の看板を設置
 - ・ 具体的な場所は検討中だがもう一カ所看板を設置する予定
 - ② 市内を走るバスの車体側面及び車内に広告を掲載
 - ③ チラシを近隣商店街や県内の文化施設に配布・設置
 - ④ 商店街等にフラッグを設置(具体的な場所は検討中)
 - ・ アーケードを撤去したためフラッグを取り付けるための器具がない商店街もあるため、のぼりの等もあるとよい
- ソーシャルメディアの活用
 - ・ 工事現場やこの委員会の状況等、最新情報の配信
 - ・ 既にある市の Facebook(フェイスブック)を活用するか、または新市民会館専門の Facebook を新開設
 - ・ LINE(ライン)アカウントの開設の検討(※個人情報の取り扱いに注意が必要)
- ラジオやケーブルテレビとの連携(商工観光課が担当している)
 - ・ 西日本放送
 - ・ 三豊ケーブルテレビ
- 商店街が月 2 回実施している生放送番組との連携
 - ・ 今宵もはじまりました(第 1 と第 3 水曜 20 時から 1 時間 Ustream(ユーストリーム)で生放送中)で市民会館情報を発信する
- 市内にある既存施設の利用
 - ・ 新市庁舎(ロビーやエントランスでコンサートを実施等)を活用した事業の実施
 - ・ 図書館(既に実施されている、読み聞かせや観音寺子ども読書フェスティバルとの事業連携等)を活用した文化芸術系の事業の実施
 - ・ かまぼこ音楽堂(蒲鉾屋の赤煉瓦倉庫を活用した施設。子どもミュージカル等が開催されている)との連携
 - ・ 朝日湯ギャラリー(銭湯を活用した施設。若いアーティストが活動している)との連携
- 竣工から開館までの間の新市民会館の利用
 - ・ スタッフの習熟期間にあたるため、利用が可能か詳細を検討する必要がある
- 観音寺市の文化芸術活動の基礎調査・データベースの作成
 - ・ (※現在作成途中)
- 既に市内で活動している文化芸術団体や個人との連携やサポート
 - ・ (※観音寺市の文化芸術活動の基礎調査・データベースの作成を現在調査中)
 - ・ どの団体や個人をプレ事業の対象とするか決めるための基準を検討する必要がある
 - ・ 開館記念式典や開館記念事業に繋げることも考えられる
- 地域の商店街との連携
 - ・ 観音寺市の地域振興券(プレミアム商品券)の発行(「祝 市民会館開館」として、新市民会館の完成イメージを図柄にした期間限定のプレミアム商品券を発行する)
 - ・ 市民会館のスタンプを押印したカードを持って買い物に行くと、各店舗ごとに違ったサービスを受けられる等
- 愛称の募集・ロゴマークの募集・ネーミングライツ
 - ・ (※現在検討中)
- 人材育成事業
 - ・ 開館後の活動に繋げるためにもプレ事業から実施することが望ましい
- その他
 - ・ 数多くの市民が利用する三豊病院や市役所の待合スペースに設置してある液晶モニターに、新市民会館の広告等が表示できると良い
 - ・ 新市民会館の友の会(仮称)をつくる

■開館記念式典について

開館記念式典では、来賓のあいさつだけでなく、記念となる公演を実施することが望ましい
公演の内容は大きく以下の3種類に分類できる

- ①優れたプロを招聘し公演を実施する
- ②優れたプロを招聘し市民と一緒に作品をつくり、その成果を発表する
- ③地域で活動する市民が作品をつくり、その成果を発表する

①優れたプロを招聘する

- 能などの祝賀的な日本の伝統芸能の公演
- 有名なオーケストラを招いた公演

・観音寺市は子供達のためにロシアから一流のアーティストを招聘し、観音寺市内の小中学校を訪問して、生の音楽を子供達に届けています。

・「いい音楽家を育てるには、いい聴き手を育てる事が大事」と、観音寺市のはぐみコンサート＝国際フェスティバルーは1998年の第1回から第6回と長年続いています。

・これまでのコンサートを通じて得た一流音楽家との交流で、知己を得た私達が、この記念すべきホールの開館に世界的演奏家を招聘すべきと考えます。

・開館式典ではご挨拶や地元芸能の披露、来賓・招待客などが中心となりますので、都合の良い別の日に「柿落し」として、世界的アーティストの公演をするという案はいかがでしょうか。

【事業を行う理由】

- ①世界の名だたるコンサートホールで演奏してきた音楽家にホールを評価してもらうことが今後のためにも非常に重要であり、日本をはじめ世界に広めるチャンスです。
- ②世界のトップ奏者が演奏することにより他の演奏家も憧れるホールとなる。
- ③他の地域が真似できないような特色あるコンサートづくり、観音寺市が何十年も続けてきた文化芸術レベルの非常に高いロシアとの交流を活かす。
- ④四国全体、岡山からも集客できるようなアーティストを招聘することにより今後に繋げる。
- ⑤小ホールはピアノ三重奏など室内楽も披露するなど利用者の想像が膨らむよう、ソロだけではなくアンサンブルでも一流の音楽家に演奏してもらう。
- ⑥世界的大物アーティストが小ホールで演奏することが実現すれば非常に贅沢なものである。

- 観音寺市にゆかりのあるアーティストを招いた公演

・観音寺出身の直木賞作家 芦原すなお氏の「青春デンデケデケデケ」に関するイベント（京都の如月舎、東京の文化座のお芝居 大林宣彦監督作品の上演会等）

・地元出身のタレント バンドライブ Noiz 根岸としえバンド 等

- ビックタレントのライブ ゆず、加山雄三、AKB48等
- テレビの公開録画 「笑点」「なんでも鑑定団」等
- 吉本新喜劇ライブ

②優れたプロを招聘し市民と一緒に作品をつくり、その成果を発表する

- プロのアーティストとともに、子供たちが参加できるような事業
- アーティスト・イン・レジデンス（アーティストに一定期間滞在してもらいながら作品を創る事業）

③地域で活動する市民が作品をつくり、その成果を発表する

- 市民が参加する第九の合唱
- 市民ミュージカル
- 子供たちが参加できるような事業として、大野原小学校のマーチング演奏・演技
- おやじバンド合戦 観音寺近隣のおやじバンドライブ
- 市民団体の出演で大野原竜王太鼓の演奏
- 観音寺市に関する文化芸術活動を集めて披露する
- 観音寺の“音”である「ちょうさ」の音を取り入れた事業